

# 栗原市教育研究センター通信

第11号 令和元年9月発行

## 初任の先生 頑張っています！

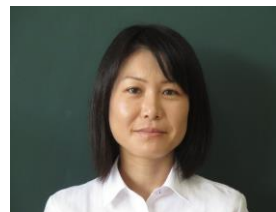
今年度、栗原市内の小・中学校には8名の初任の先生方が赴任しました。晴れて「学校の先生」となった皆さんによる「4～8月までを振り返って」を掲載します。どれも初々しい内容です。

### 穴戸 真希（ししど まき）先生 <築館小学校>

築館小学校に着任して、間もなく半年が過ぎようとしています。新しい職場で分からないことが多い中、先生方に多くのことをご指導いただき、この半年間、安心して過ごすことができました。

本校では、特にICT機器を活用した授業に力を入れて取り組んでいます。着任翌日からデジタル教科書を活用した授業が始まり、操作に大変苦労しました。初任研での授業参観と実践を通して、ICT機器はどのような場面で活用するのか、また、子どもたちの学び合いにどうつながるのかを学ぶことができました。今後は、様々な学習活動で自在に活用できるよう、努力していきたいと思えます。

授業以外にも、生徒指導、保護者対応などで失敗することが多く、反省ばかりの毎日ですが、「学校が楽しい」と子どもたちが言ったり、「子どもが成長した」という声が保護者から届いたりすると、とてもうれしい気持ちになります。この喜びを忘れずに、精一杯日々の指導に当たりたいと思えます。



### 川村 百恵（かわむら ももえ）先生 <若柳小学校>

着任してからの5か月間は、学びにあふれた日々でした。初めてのことや分からないことが多く、周りの先生方にたくさん教えていただき学ぶことができました。また、児童からも多くのことを学びました。授業では、発問一つで全く違った反応になることや、児童によって様々な手立てが必要だということなど、事前の教材研究や児童の実態把握が大切だと学びました。

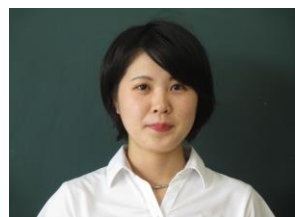
運動会の練習では、走りたくないと言っている児童に対し、私は励ましたり、一緒に走ったりすることができずにいましたが、クラスの友達がその児童に声を掛けることでやる気を出し、一生懸命走った姿を目にして、友達を思いやることの素晴らしさを感じることができました。うまくいかず落ち込むこともありますが、教室に入ると子どもたちのたくさんの笑顔に包まれ、「よし頑張ろう」と思うことができます。これからも、児童と一緒に学び続けていきたいと思えます。

### 齋藤 瑞樹（さいとう みずき）先生 <栗駒小学校>

栗駒小学校に赴任して半年が経とうとしています。私にとっては授業をすることも、行事を行うことも、初めてのことばかりでした。周りの先生方の支え子どもたちの言葉、保護者の協力があって、ここまで来ることができました。

特に印象に残っていることは運動会です。今年は10連休があり、準備は急ピッチで進みました。高学年の団体種目では、初めて南中ソーランに取り組みました。隊形を考えたり、振り付けを教えたり、「これでいいのかな？」と不安になることもありました。本番は天気にも恵まれ、どの種目でも子どもの生き生きとした姿と笑顔を見ることができました。南中ソーランも全員が堂々と踊る姿を目の当たりにし、指揮台上で感動したことを鮮明に覚えています。

幼いころから憧れだった教員の仕事。大変なこともたくさんありましたが、その分楽しいこともありました。これからも、自分自身を磨いていき、子どもたちのために頑張りたいと思えます。



### 伊藤 優文（いとう まさふみ）先生 <栗駒南小学校>

4月からの日々はとても楽しく、充実しています。子どもたちは明るく元気で、職場の雰囲気も良く、恵まれた環境です。これまでの5か月間、私は、校長先生をはじめとする周囲の先生方から教員としての仕事のいろはを一つ一つ学んできました。

特に、私は整理整頓が苦手です。散らかっている私の机やロッカーを見たメンターの先生から「教室が整理整頓されていないと、子どもたちも落ち着かないよ」と指摘されたことがありました。この言葉は私の片付けに対する意識を変えるきっかけになりました。その後、必要な物と不要な物を仕分け、教科ごとに教材をまとめて置くようにしたり、他の教室を参考にして教室内の緑化に努めてみたりと、少しずつ環境づくりに気を配れるようになりました。

今後も、当たり前のことを当たり前にやるという『凡事徹底』を心掛け、早く独り立ちできるように、そして学校を支える一員になれるように、日々学び続けていきたいと思えます。

## 齋藤 敦哉 (さいとう あつや) 先生 <築館中学校>

私は「徹底」をテーマに夏休みまでの学級づくりに取り組んできました。授業規律や時間を守ることなど、基本的な生活習慣に関することをまず意識させようと努めました。徹底させる中で、子どもたちにどのような支援や工夫が必要かを、日々の授業、朝の会、帰りの会等に時に考えさせるようにしてきました。悩んだ時もありましたが、その時は先輩教師から分かりやすい助言をいただきながら、もう一度自分で考え工夫し、取り組むことができました。

夏休み明けのテーマは「判断」です。子どもたちは4月から様々なことを学習しました。学習したことを土台とし、周りの状況を判断したり、教師からの問い掛けに応じたりして、子ども自らが高い判断力と規律ある集団を形成できるように担任として尽力していきます。今後も自分の方針をしっかりと持ち、先輩教師からの助言もいただきながら、子どもたちと一緒に頑張っていきます。



## 福田 遼 (ふくだ りょう) 先生 <若柳中学校>

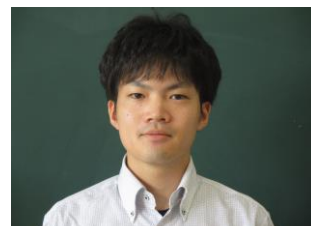
赴任して5か月が経ちましたが、振り返ってみて一番感じていることは、目配り気配りの大切さです。私自身、母から「周りを見て、気配りをできる人になりなさい」と言われてきました。学校現場に立った今、それがなかなかできていない現状があります。ある保護者からの電話で「うちの子をしっかりと見ているんですか？」と指摘されることがありました。教材研究や部活動等が忙しいことを理由に、目の前にいる生徒に目配りや気配りができていませんでした。思い出すと、とても申し訳ない気持ちに襲われますが、今の自分に足りないところに気付くことができた良い機会だったと感じています。それを機に生徒との関わり方を見つめ直し、以前よりも意識することにつながりました。課題だらけの私ですが、一つ一つのことに全力で取り組み、日々成長していきたいと思えます。

## 齋藤 充志 (さいとう あつし) 先生 <志波姫中学校>

夢に見ていた中学校教員になってから早5か月が経ちました。目まぐるしく変化する教育現場に、何とか必死にしがみついていたらあっという間に夏休みでした。

私は1年生の担任でありながら、自身も教員1年生。本来ならば、生徒たちに学校生活のいろはから教えることのできる立場でなくてはならない存在なのに、一緒になって奔走している……。このような私でも「先生、先生」と呼び、慕ってくれている子どもたちを見ていると、うれしい気持ちと同時に「私はこの子たちを社会で生きていけるよう、導いていかななくてはならない」と使命感で身が引き締まる思いです。

そのような中でも来年度は多少戦力にはなれるように今は初めてのことを全て吸収する心づもりで、まずはこの一年、残りの半年を駆け抜けたいです。



## 佐々木 敦美 (ささき あつみ) 先生 <栗駒中学校・養護教諭>

養護教諭になるという夢がついに叶ってから、あっという間に5か月が経ちました。

私はこれまで県北に足を踏み入れたことがなく、「栗駒ってどこだろう、知らない土地でやっていけるのか？」と不安いっぱいでは着任しました。4月がスタートすると、そんな不安をよそに、定期健康診断の実施と事後措置、初任研、学校行事にPTA行事等々、毎日が盛りだくさんで、瞬く間に日々が過ぎ去っていきました。

8月の市町村初任者研修で、「4月からを漢字一文字で表すと」の問いに、私は「恵」を選びました。栗駒中学校の先生方は不安いっぱいの私に声を掛けてくださったり、生徒対応の相談に乗ってくださったり、恵まれた環境で仕事ができていると感じます。これからも謙虚な姿勢で学び続けることを大切に、成長していきたいと思えます。今後も、ご指導よろしくお願い致します。

## 初任者研修市町村教育委員会研修の主な研修内容

### I (5月9日)

【史跡等見学】 山王ろまん館、仙台藩花山村寒湯番所跡、自然薯の館、細倉マインパーク、くりでんミュージアム、金成歴史民俗資料館 ほか

### II (8月19日)

【講話】「新任教員に期待すること」 教育委員会教育部 多田次長  
「法的観点から学校教職員に求められる『いじめ』問題の初期対応」 築館法律事務所 庄司弁護士

【移動研修】「栗駒山麓 ジオパーク視察研修」

ジオパーク推進協議会職員、ジオガイドの案内



～「藍染湖ふれあい公園」にて～